



ご挨拶

国際ロータリー第2600地区
2020-2021年度

ガバナー **成田 守夫**

国際ロータリー第2600地区、2020年-2021年度のガバナーとしてご挨拶申し上げます。

2020年1月、サンディエゴで開催された国際協議会において、次年度国際ロータリー会長、ホルガー・クナーク氏は会長エレクトのテーマ講演の中で、次年度RIテーマを『ロータリーは機会の扉を開く』と発表されました。そして皆さんには、有機的かつ持続可能なかたちで、いかにロータリーを成長させることができるかを考えていただきたい。現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか、そして立ち足る課題に立ち向かうため、いかに組織を強くできるか、行動を起こさなければなりません。更に

- ・時間を味方につけて中核的価値観に沿ったロータリー活動をしましょう。
- ・「四つのテスト」を活用し物事を決める。
- ・変化に対応する設計者は若い人です。多世代クラブへ。
- ・環境保全のためにもプラスチックの消費減へ。
- ・新会員に学び、皆で集まる (together)。
- ・行動計画 ロータリーの成長にデジタル対応する。各クラブ年1回戦略立案会議開催へ。リーダーシップの機会の提供
- ・ロータリーは無限の機会への招待。
- ・あらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いている。

と語られました。

私は国際ロータリーの一員として、RIの方針をクラブ及びロータリアンに伝えると共にその方針に基づき、地区方針を定めて、世界の約530地区、120万人のロータリアンと意識を共通にしながら、第2600地区の皆様と共に行動してまいります。

私たちは、ロータリークラブがなければ出会うこ

とがなかった人々や支援を必要とする人々とつながることで活動が世界に拡がり、地域で世界で、人生を変えるような活動が可能となってまいりました。一方、ロータリー活動の中心であるクラブのあり方は、より創造的かつ柔軟性をもって判断し運営することで、戦略的・革新的な方策が必要となってきています。さらに活動を世界に広げるために、ロータリアンとローターアクターが共に活動し、ローターアクターや若い職業人の皆さんへロータリーの扉を開く、必要があると思います。

また、ロータリーは人々のためにリーダーシップへの道を切り開いていくことこそ、真のロータリーの理念であり、そうすることでロータリアン自身が効果的なリーダーとなります。そしてロータリーとはクラブに入会するだけでなく無限の機会への招待にもなります。更に変化する地域社会のニーズを受け止められるクラブの基盤をつくるために、3～5年先の近未来を展望する「クラブビジョン」を構想し、クラブがその実現を目指して、「クラブ戦略計画」を立案するよう推奨してまいります。9名のガバナー補佐の皆様と地区委員会委員の皆様と共に、継続的にクラブへの支援に務めてまいります。そのことが、地区内9グループの結束力を高め、ロータリー等企画力のある活動に結びついていくものと思います。

2020-21年度の地区標語を『ロータリーを通してあなたの世界を上げよう』としました。

RIの戦略計画、4つの優先事項 (2019-2024)

1. 「より大きなインパクトをもたらす」
2. 「参加者の基盤を広げる」
3. 「参加者の積極的なかわりを促す」
4. 「適応力を高める」

以上の優先事項の上に、各クラブで、地域の魅力を語り合ってください。クラブ、地域、グループの魅力が出てくると、その魅力を高めるために、次の「目標」が定まります。目標に向かうと「年次目標」となり『ロータリーを通してあなたの世界を上げよう』となります。

結びに、強大化する自然災害、高齢化と少子化に悩む長野県で、今こそロータリアンが新たな結束と活力を持ってロータリーから信州を元気に!!、していく一年であることを念願しております。